

# 平成30年度PTA指導者研修会 開催要項

【PTA指導者支援事業（東部会場）】

## 1 趣 旨

家庭・学校・地域をつなぐ重要な組織であるPTAの役員を対象に、現代的課題を踏まえながら指導者としての資質の向上を図る「PTA指導者研修会」を実施することで、役員から各单位PTAに研修内容を広げていき、PTA活動の活性化、子ども達の基本的な生活習慣の定着化、学習環境の整備を図る。

## 2 日時・場所

日時：平成30年6月9日（土）13：00～15：40

場所：国府町コミュニティセンター（鳥取市国府町庁 380 TEL：0857-24-1642）

## 3 日程

12:30 13:00 13:30 13:40 15:40

受付	開会行事 施策説明	休憩 移動	分科会	閉会
----	--------------	----------	-----	----

## 4 参加対象

○東部地区 小・中学校 各单位PTA役員2名程度（毎年実施している本研修に未参加の方が望ましい）

## 5 内 容

### (1) 開会行事・施策説明

○主催者あいさつ

○施策説明：鳥取県教育委員会 東部教育局 指導主事 平野 靖博 氏  
鳥取県教育委員会 人権教育課 指導主事 西垣 卓宏 氏

### (2) 分科会

#### ■第1分科会

- テーマ：年間行事や企画の広報紙での取り上げ方
- 発表者：H29年度県広報紙コンクール受賞校
- 講師：新日本海新聞社 取締役専務執行役員 田中仁成 氏
- 内容：PTAの実践発表と新聞作成のプロからの視点を講話いただき、実際の紙面を見ながら読まれる広報紙・読みごたえのある広報紙への改善点等をわかりやすく教えていただきます。

#### ■第2分科会

- テーマ：「仲間づくり」 いじめ「あなたはどう考えますか？」
- ファシリテーター：川口幸一 氏（鳥取市人権教育推進員）
- 内容：「いじめとは何か」を理解するために、身近な事例をグループで話し合い、いじめはどんな理由があっても許されない行為であることを確認します。その上で、いじめ問題が生じたときは、学校、家庭、地域がどのような役割を担うのか、どのように連携すればよいのかなどを考えます。

#### ■第3分科会

- とっとり子どもサミット～電子メディアとのより良い付き合い方編～
- 講師：鳥取県教育委員会 社会教育課 指導主事 戸板 正哉 氏

※子どもたちが主体となる為、大人は見学のみでの参加となります。

とっとり子どもサミットの子どもの参加申し込みは、別紙にて、学校を通して県教育委員会社会教育課に提出となります。

主催：鳥取県PTA協議会

## 鳥取県PTA指導者研修（東部地区）参加アンケート結果

紙面回答45人 WEB回答8人（合計53人）

- 1 学校区分 小学校〔37〕 中学校〔16〕 その他〔0〕  
2 参加分科会 第1・広報紙〔15〕 第2・人権プログラム〔32〕 第3・子どもサミット〔6〕  
3 分科会について

- (1) テーマ（「広報紙」「仲間づくり」「子どもサミット」）について  
良い〔42〕 だいたい良い〔8〕 あまり良くない〔0〕 未記入3  
(2) 本日の研修した内容を各学校で活用しようと思われませんか。  
是非、活用したい〔25〕 活用を検討したい〔28〕 活用は難しい〔0〕

(理由)

### 【第1分科会・広報紙】

- ・具体的な例を出していただき、わかりやすかった。対談しらしい！
- ・今年初めてなので、とても参考になりました。広報誌でもっと上をとりたい。
- ・広報誌作成に参考になったので、提案し取り入れたいと思った。
- ・まず、広報誌の目指すところを役員間で話し合いたい。次年度にも引き継ぎたい。
- ・部会で部員に周知を図りたい。
- ・写真のレイアウトなどすぐにでも活用できそうだから。
- ・同じこと（前年同様）ばかりであり、面白くないかとも思いました。検討して面白いものや読みやすいものを目指します
- ・レイアウトについては、とても参考になりました。対談の文字おこし、ボイスレコーダーを何度も聞いて頑張ったかいがありました。今年も頑張ります。
- ・白黒でもカラーの広報誌に負けにくいくらいインパクトがあると聞いて、次回の広報誌の作りの時は、写真選びに力を入れたいと思いました。
- ・広報誌を作るときに、今回のプロの方の話を参考にと思いました。部員の方に多く聞いていただきたくなるような良い話でした。レイアウトの上手なやり方、真似をしてみたいです。

### 【第2分科会・人権プログラム】

- ・みつばちワクワクカフェで自分の言葉でしゃべることで聞く以上に心に響いた
- ・子どもたちが話し合える場ができるから。親子でしてみたい。
- ・いじめの意識を高めたい。（皆で）
- ・親同士が親しくなれる機会にもなり、他の人の意見も聞けるので。
- ・いじめについてでしたので、活用はしたくないのですが、研修はとてもいいものでした。
- ・参加者同士でうちとけた雰囲気でも研修に取り組むことができました。ワークショップの回し方がとても参考になった
- ・進行が今一つと感じた。身近なテーマで話し合えた。
- ・知らないことが多すぎる分野でしたが、たくさん教えていただきました。
- ・欠席者が多いと意味がないが、全員参加くらいで開催できれば、とても良い研修会でした。親のコミュニケーションも図れる。
- ・一方的でなくても「いじめ」にあたるということ。これまでよりシビアに考えていかなければいけないと感じた。
- ・研修受講で、意識的に参加することができたから。
- ・「いじめ」に関する考え方、対処の仕方を理解する言いきっかけとなった。
- ・昨年、中学校でみつばちカフェをやりました。
- ・たくさん意見を出し合うことができるし、たくさん意見を共有することができるてんがよかった。
- ・色々な意見が聞けて良かったです。
- ・参加型のグループワークが（参加者と密接な意見交換ができて）良かった。課題解決の面だけでなく、参加者同士の人間関係の構築にも役に立ちそうに感じました。

### 【第3分科会・子どもサミット】

- ・参加者全員、活発な意見を出していた。
- ・子どもが自ら考えて、行動することが効果的だと思った。

#### 4 今後、研修したい内容等があれば記入してください。

- PTA活動全般
- PTAの運営について情報共有の仕方
- PTAの存在意義や今後期待される組織像(PTAの負担感、役員選定の実情、任意加入の原則の実情などを踏まえて)
- SNSなど
- メディア・いじめ
- メディアからの子どもへの影響、対処法
- インターネットの利用の仕方
- インターネットとのかかわり方、子どもとのかかわり方
- 会議の進め方を勉強できる機会があればうれしい
- やる気スイッチのを見つけ方
- 登下校の安全とマナー
- 思春期の子どもとの向き合いかた

#### 5 研修全体を通してお気づきの点などがあれば、ご記入ください。

##### 【第1分科会・広報紙】

- PTA執行部の部員として研修に参加することになったが、広報部の部長と参加すればもっと良かった。研修内容は伝えませんが、直接聞いた方が分かりやすいので。
- プロの意見とても参考になりました。今日の話をもとに今後参考にして良い広報誌を作っていきたい。レイアウトが結構大切なことが分かりました。

##### 【第2分科会・人権プログラム】

- 普段考えることのない問いについてじっくり考えることができ有意義な時間でした。•参加してみると、分科会もあつというまに終わってしまった。帰宅後もいろいろと振り返ったりしました。参加して、とても良かったと思います。
- 非常に良い研修でした。次年度以降も参加したい。
- グループワーク楽しかったです。最後は、全体が一つにまとまった一体感もあり、充実した時間でした。
- とにかく面白かったです。また、忙しい日々ですが、じっくり考える時間を持つ事の大切さが分かりました。自分自身の意見、他の方の意見、両方を見つめる時間をもて良かったです。ありがとうございました。
- とてもわかりやすく、自分で動かないといけない状況なので、話し合いに参加しやすかった。
- 発問の設定が難しいと思った。

##### 【第3分科会・子どもサミット】

- 子どもサミットと併せて行われた母親サミットは、色々な情報共有ができて大変意義のあるものだった。役員以外の方の参加もあってもよいのかも。
- 子供たちと話ができたよかったです。

##### 【その他】

- 全体での開会行事を行ったホールでのドアの開閉音が少し気になりました。
- 他の分科会がどのような様子であったかを どこかで知ることができるとありがたいです。
- 全体会から分科会への移動がスムーズにできてよかった。

# 成30年度PTA指導者研修会 開催要項

【PTA指導者支援事業（中部会場）】

## 1 趣旨

家庭・学校・地域をつなぐ重要な組織であるPTAの役員を対象に、現代的課題を踏まえながら指導者としての資質の向上を図る「PTA指導者研修会」を実施することで、役員から各単位PTAに研修内容を広げていき、PTA活動の活性化、子ども達の基本的な生活習慣の定着化、学習環境の整備を図る。

## 2 日時・場所

日時：平成30年6月23日（土） 9:30～12:00

場所：倉吉体育文化会館（大研修室）

## 3 日程

9:00 9:30 10:00 12:00 終了

受付	開会行事・施策説明	テーマ別研修会	閉会
----	-----------	---------	----

## 4 参加対象

○中部地区 小・中学校 各単位PTA役員3名程度

## 5 内容

### (1) 開会行事・施策説明／大研修室

○主催者あいさつ

○施策説明 鳥取県教育委員会 中部教育局 社会教育主事 西村信彦 氏  
鳥取県教育委員会 人権教育課 係長 寺谷孝志 氏

### (2) テーマ別研修会

#### ■第1分科会／大研修室 【人権教育プログラム】

○テーマ：「本音が言える環境づくり」 あなたは何キャラ？ ～いじりといじめを考える～

○講師：前田雄大 氏（倉吉市さわやか人権文化センター人権教育推進員）

○内容：いじめのとりえ方は人によって様々です。研修では“〇〇ごっこいじめ”の現実からいじめ未然防止につながることを考えます。対話を通して、いじめに発展しそうな言葉や行動に気づき、子どもの本音に寄り添いながら、いじめを見逃さない意識や行動について理解を深めてみましょう。

#### ■第2分科会／中研修室 【PTA活動】

○テーマ：「そだねー」 ～ピンチをチャンスに！皆が納得いくPTA活動に向けて～

○ファシリテータ：浅雄淳子（あさお あつこ）さん / 前鳥取県PTA協議会事務局長

アドバイザー：倉本政寛（くらもと まさひろ）さん / 県P中部ブロック役員（H23～26年度）

：衣笠優子（きぬがさ ゆうこ）さん / 県P中部ブロック役員（H26、29年度）

○内容：「PTA役員になっちゃったけど不安・・・」「この活動って本当に必要なの？」など、日頃PTA活動について感じていること、困って悩んでいることなどあると思います。お互いの思いや悩みを共有し、この状態（ピンチ）をチャンスとして捉え、役員としてどう考えこんな時はどうしたらいいのか、経験豊富な方々の成功や失敗談も参考にしながら、これからの取組みなどへのヒントを見つけ出し、今後のPTA活動を前進させるよう一緒に考えましょう。

#### ■第3分科会／教養室2 【とっとり子どもサミット】（子ども対象）

○テーマ：電子メディアとのより良い付き合い方

○講師：鳥取県教育委員会 社会教育課 指導主事 戸板正哉氏

※子どもたちが主体となる為、大人は見学のみでの参加となります。

会場が狭いため、希望が多い場合は会場に入れない場合があります。

とっとり子どもサミットの子ども参加申し込みは、別紙にて、学校を通して県教育委員会社会教育課に提出となります。

## 指導者研修会 第1分科会【人権教育プログラム】

「本音と言える環境づくり」あなたは何キャラ？～いじめといじめを考える～

【準備、説明】・4, 5人のグループを作り、ワークショップ形式の学習。

- ・話し合いのルール 3つの提案
- 参加 (積極的な発言)
- 尊重 (相手の意見をしっかり聴く)
- 守秘 (ここで聞いた話は他言しない)

【アイスブレイク】 自己紹介

小学生のとき自分は何キャラだったか？(まじめ、いやしお笑い、クール、やんちゃ) 当時のニックネームをふせんに書いて図にはってグループ内で自己紹介。

【グループワーク】

- ① 場面イラスト①【休憩時間の教室内の子ども達の様子】を見て、子どもたちがそれぞれの場面でどんなことを考えているか？話しているのか？気持ちやセリフを書き出していく。(吹きだしを黒ペンで書いていく)
- ② 場面イラスト②廊下で先生に話をする生徒の絵を加える。  
→教室の中でのプロレスごっこがエスカレートしていること先生に伝えている状況を確認する。  
状況を把握した後で子どもたちがどんな言葉や、考えになるのか？気持ちやセリフを書き足していく。(吹き出しを赤ペンで書いていく)
- ③ 子どもたちが安心して本音と言えるような環境を普段どのように作っているのか？  
日常生活を振り返り家庭で行っている具体的な声かけや行動を紹介しあい、書き出していく(空いたところに青ペンで書いて四角で囲む)
- ④ ギャラリーウォーク  
他のグループを見て回り、共感するものや参考にしたいところに共感シールを貼る。
- ⑤ まとめ  
子どもが安心して本音を語るため「明日からできそうなこと」を考える。  
模造紙の上部に青ペンで大きな字で書く。
  - ・密室で話をする(2人きり)、家族全員の予定を把握する。発言を否定しない。などの意見があった。

【まとめ】

- ・いじめの未然防止を考えるプログラム。周囲の人の少しの気づきと行動が、いじめをさせない人間関係につながる。
- ・どんな本音でも受け止めたいと思う大人の気持ちを、言葉や行動で子供に伝えていただきたい。

## 指導者研修会 第2分科会「PTA 活動」

○ファシリテータ (浅雄さん)

「PTA がピンチの時に皆さんと一緒に考える」

①アイスブレイク→リラックス

自由に動いて参加者同士でじゃんけん。負けた人順にグループ分け。

②グループワーク

展 開① 自己紹介

展 開② ピンチだった事例提示

参加者が付箋にピンチだった事例を書きだし、模造紙に貼り付けていく。  
同じ事例だったら同じ場所に貼り付け、マジックペンで色分けし分類する。  
部屋前面のホワイトボードにグループでまとめた事例を貼りだす。

展開③ 各グループで出た意見の中で1つ解決したい例を選び、その解決策について意見を出し合う。

展開④ グループごとに出た意見、解決策の発表

内容に応じて、ファシリテータ（浅雄さん）アドバイザー（倉本さん、衣笠さん）の評価

総評 ファシリテータ「PTAの在り方をふり返ってもらうことが大切。

役員の方はみなさん何らかのピンチを感じたことがあり、それらをみなさんで共有し、考えることが有益。」

### 平成30年度中部PTA指導者研修会 第3分科会【鳥取子どもサミット】

テーマ：電子メディアとのより良い付き合い方

講師：鳥取県教育委員会 社会教育課 指導主事 戸坂正哉氏

参加人数：小学生14名、中学生8名

サポーター：鳥取環境大学 学生 5名

#### 1. 研修内容説明 9:30～

- ・サミットのルール（本音で話をする。人の意見を批判しない。）
- ・サポーター紹介（大学生の自己紹介）

#### 2. アイスブレイク

- ・全員でカニじゃんけん（大人の参加者も）

#### 3. 各班の班長決め 9:45～

- ・各班員の自己紹介と班長決め
- ・各班でアイスブレイク（サンドイッチゲーム）

#### 4. 各班で話し合い（1回目）～10:20

「電子メディアとより良く付き合う」とは？

・時間を守る	小学生も中学生も同じ？
・ルールを決める	どんなルール？
・宿題を先にする	順番を決める
・ゲームより家族との時間を大切にする	テレビ、ゲームより楽しいこと？
・個人情報をもやみに出さない	どんな情報？

#### 5. 各班で話し合い（2回目）10:30～11:20

みんなのできる。みんなのでつくる。みんなで取り組めること。

#### 6. まとめと発表 11:35～12:00

- ・班長を中心に発表する。
- ・各班員一人一言は必ず話す。
- ・明日からどんな取り組みをするのか。
- ・班で話し合った感想。

班	発表内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族に電子メディアの使い方について宣言をする。</li> <li>・ゲームの前に宿題をする。</li> <li>・使う時間を決める。</li> <li>・メディアを使った時間分休憩をする。</li> <li>・ポイント制にする。(お手伝い+P, 使ったら-P, 無くなったら没収)</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪徳サイトに気を付ける。</li> <li>・調べものはよく知っているHPを使う。</li> <li>・相手のことを考えてから書き込む。</li> <li>・目の健康のためにテレビ, ゲームを近い状態で見ない。</li> <li>・使用時間を決める。 平日 2 時間 30 分 休日 4 時間 30 分 小学生 PM 9:30 まで 中学生 PM 10:30 まで</li> </ul> 感想・・・自分では思い付かないアイデアが出た。
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で守れる時間割を作る。(各人が作成していた)</li> <li>・大人に確認してから利用する。</li> <li>・家族でルールを決める。</li> </ul> 感想・・・話し合いでメディアのメリット・デメリットが出た。 今後はそれを考えて付き合うようにしたい。
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用するマナーや時間を守る。 (外で遊ぶ。使用は寝る 2 時間前までにする。食事中に使わない。勉強してから使う。悪口を書かない。ネット情報のすべてを信じない。歩きながら利用しない。)</li> <li>・利用は 9 時までとする。</li> <li>・電気を消したら眠れなくても使用しない。</li> <li>・1 時間使用したら 15～30 分休憩する。</li> <li>・ポイント制にする。</li> </ul> 感想・・・メディアを使いすぎないようにする。 自分が守れていなかったことに気が付いた。

## 7. 講師まとめ

- ・メディアについて話し合ったが、お手伝いや読書にも繋がっている。
- ・時間を大切にする。
- ・今, しないといけないことを大事にする。
- ・もっと便利になっていくが, 気を付けないといけないことも多くなる。
- ・ポイント制などルールについて家の人と相談してください。
- ・自分たちで決めたルールを班全員で守れるように頑張りましょう。

**【第一分科会】人権教育プログラム「本年が言える環境づくり」**

(1)分科会のテーマについて

①良い

- ・ なかなか本音を口に出す事が少ない割にSNS等ではグチなどを発信する現在だと感じているので、口で伝えるようにするのは重要と思う
- ・ 気付かされる事がたくさんありました。帰ったらハグしてやります。
- ・ 何でも言えて助け合う仲間作りがいじめをなくす一足でコミュニケーションを取っていききたい良い分科会でした
- ・ 日頃から子育てに関する悩みを共有できた ・ いじめ教育プログラムってどんなコワイプログラム？と不安でしたが参加しやすくて良かった。
- ・ イラストを見ながらの意見出しは少し難しかったですが、いろんな意見が聞けて良かったです。ギャラリーウォークも良かった。
- ・ 子どもが言いたいことを言えずにいたら悲しいので今日聞けた事を活かしていきたい

②おおむね良い

- ・ 前半は難しいテーマでのグループ対義だったが、後半は「子育て」についてのテーマになり、身近で実践的な内容で良かった。
- ・ テーマが重たいが良い雰囲気できた ・ 子どもの本音を聞くには→子どもとの関わり方の振り返り参考になった
- ・ 本音が言えるための環境作りが大切だと感じていてそれに関する事が深められた

(2)本日の研修内容を各学校で活用したいと思いませんか

①そう思う

- ・ 中学生になると自然と会話が減っていく中で会話のツールを利用できる
- ・ これだとユニバーサルにいろんな人とやれそうです ・ そう思うがどう使っていくか不明

②ややそう思う

- ・ コミュニケーション～本音を聞き出す。ちょっと難しい流れかな？と感じたような。 ・ 学校全体というよりはクラスや学年で実施したい
- ・ 子どもとの関わり方を見直す良い機会にはなると思いました ・ カラーコピーとか用意するものがある。そんなに深まらない

③あまり思わない

- ・ 参加者がすくないので
- ・ 内容、テーマとまとめ、意見がきちんと合致していないように思えた(その流れに持っていけなかったのかもしれませんが)

**【第二分科会】PTA活動「そだね～ピンチはチャンスに！皆が納得がいくPTA活動に向けて～」**

(1)分科会のテーマについて

①良い

- ・ 役員(特に会長、副会長)同士の悩みが聞けて良かった ・ 普段悩んでいる事柄について、ドンピシャなテーマだった。
- ・ 小学校の内部だけでは同じような考えができませんが、他校の方と話すことでいろいろと考えさせられました。とてもありがたい会でした。
- ・ 同じような悩みを持っているなーと共有できてよかったです。ワークショップは苦手です。
- ・ いろいろな情報が聞けて良かった。同じ悩みを持つ人達との関わりは楽しい ・ PTAとしての意味を理解できるテーマで良い
- ・ はじめて会った人達とグループになり、こんなに明るく楽しく話をする事ができるとは思わなかった
- ・ 同じ内容のことを、他学校の会長・副会長と話し合えて良かった。PTAそのものについて、熱く考え語り合える場だった。
- ・ 様々な地区の方と話ができて、自分の中の固定概念がなくなった気がします ・ 今後のPTA活動に大変役立つ内容であった

②おおむね良い

- ・ 役員決めに困ることが多かったため ・ 他校の現状を知ることができた
- ・ 悩みを共有し、解決に向けた話し合いができた ・ やってみたい面白かった

(2)本日の研修内容を各学校で活用したいと思いませんか

①そう思う

- ・ のみにケーションいいと思いました。 のみにケーションの回数を増やす。 ・ おもしろい!! 是非活用したい!! 進め方が魅力的
- ・ 会員さん全体に感謝することが活動の活発化につながると思います。 ・ アイスブレイク良かったです  
自分が取り組んでみたいテーマを取り上げていただき prest ができたのが良かった
- ・ PTAの役員の決め方で一部の人に偏ってしまわず、上手く次々と役員さんを経験して欲しいと思っているから
- ・ 私自身の目標が「参加しやすいPTA活動」なので今回出た良いところ取り入れてよりよいPTAにしていきたい
- ・ 役員さんといろんな悩みを共有し、解決策を考えてみたいと思いました
- ・ いろいろな単Pの状況ややり方など聞けたので、取り入れられるところは取り入れたいと思います
- ・ 会議の回数も多いので時間(終わりの)を決めていきたい。楽しく活動している姿を見せて伝えていきたい
- ・ 役員をした事がある人には響くが、会員でPTAに興味がない人にとってはキツイかなと

③あまり思わない

- ・ 役員ならこんな話はできますが多くの人なら(学校の)なかなかできなさそう



## 【第三分科会】とっとり子どもサミット

### (1)分科会のテーマについて

#### ①そう思う

- ・ほとんどの家庭でスマホ、タブレット、TV、ゲームなどメディアがある中でルールを決めていない、決めているけど守っていない家庭が多いのではないかと思う
- ・改めて子どもたちで話し合いメディアと良くつきあうにはどうすればいいか考える良い機会だったと思う
- ・子どもたちは簡単にメディアを見ることのできる時代になっているのでルールを決めてすることは良いことである悪いこと、良いことを確認できたと思います
- ・今の生活には必要な物なのでそれについて議論をするのは大切だと思います。

#### ②ややそう思う

- ・子どもだけで考える方法は良いと思いました。現代の問題として必要と思いました

### (2)本日の研修内容を各学校で活用したいと思いますか

#### ②ややそう思う

- ・どういう形で活用できるか分からないが、学校の授業の一環としてやってもらえたらいいと思う
- ・子どもサミットの方式で各小学校のたて割りでのグループでの学習ができればなと思いました

### 今後、研修を受けたい内容

- ・虐待、DVなどかわりが難しいテーマにもこんな形でとっかかりを作っていきたい
- ・子どもたちのスマホ、インターネットトラブル ・ 冊子にあった他の内容 ・ ゲームなど金銭的なやりとり
- ・保護者や会員さんに下せるような内容(PTAの在り方や、保護者間の付き合いなどについて)
- ・リーダー研修、人前で話す、伝え方などの研修 ・ お笑い芸人を呼んだ笑いの研修
- ・「他校がこんなことしてます」の内容を知りたい ・ PTA活動の意義や楽しさを伝える方法

### 研修全体を通してお気づきの点

- ・他グループの内容に質問したいことがあったので質問時間が欲しかった
- ・考え方はいろいろあって、それぞれの立場で変わってくるので学習することは大切だと思いました
- ・今日参加しておられた役員の方はみんな楽しんでイキイキしておられました。PTA活動は楽しいということを発信していけたらと思います
- ・参加型研修会で自己紹介から楽しく参加できました ・ 楽しかったです。飲み会が一番つながりやすいかもしれないですね
- ・子どもサミットの分科会に申し込んでいたのですが、別の分科会になってしまい少し残念でした。もっと広い会場で、希望者全員が参加出来たらよかったです
- ・単Pの枠を越えて、仲間ができたような気持ちになった
- ・せっかくPTAのことについての研修会をしたので、できたら校長先生や教頭先生にも出席していただいで話を聞いてもらいたかった
- ・PTA指導者研修会としての分科会のテーマだけではなく、各小学校のリーダー研修会を開催してはどうか
- ・グループ形式でリーダーがおり、まとめるお兄さん、お姉さんもいて話しやすいし、もぐもぐタイムなどもあり、リラックスして話し合える時間を過ごせてとてもよかった(子どもサミット)
- ・長い時間の話し合いで細かいルール決めや、いろいろな意見が出ました。親も追いつかないかも。(子どもサミット)

# 平成30年度PTA指導者研修会 開催要項

【PTA指導者支援事業（西部会場）】

## 1 趣 旨

家庭・学校・地域をつなぐ重要な組織であるPTAの役員を対象に、現代的課題を踏まえながら指導者としての資質の向上を図る「PTA指導者研修会」を実施することで、役員から各单位PTAに研修内容を広げていき、PTA活動の活性化、子ども達の基本的な生活習慣の定着化、学習環境の整備を図る。

## 2 日時・場所

日時：平成30年7月1日（日） 14：00～16：40

場所：米子市福祉保健総合センター ふれあいの里（米子市錦町1丁目139番地3 0859-23-5491）

## 3 日程

### 第1分科会

13:30 14:00 14:10 14:20 16:30

受付	開会	施策説明	分科会（休憩随時）	質疑 まとめ	閉会
----	----	------	-----------	-----------	----

### 第2分科会

13:30 14:00 14:10 16:30

受付	開会	分科会（休憩随時）	質疑 まとめ	閉会
----	----	-----------	-----------	----

## 4 参加対象

○西部地区 小・中学校 各单位PTA役員3名程度

## 5 内 容

### ■第1分科会

- ①施策説明 鳥取県教育委員会 人権教育課係長 寺谷孝志 氏
- ②人権教育プログラム（社会教育編）を活用したグループワーク
- テーマ：人間関係「かけがえのないあなたたちへ」
- ファシリテータ：人権教育課係長 寺谷孝志 氏
- 内容：あなたの子どもが「いじめ」の加害者になったとき保護者としてどうしますか？その時、してはいけないことは何でしょうか。グループでの話し合いを通して、保護者としてのあり方を一緒に考えましょう。

### ■第2分科会

- 広報紙作成について
- 講師：新日本海新聞社 西部本社編集局長 小谷和之 氏
- 内容：新聞作成のプロからの視点から講話いただき、実際の紙面を見ながら読まれる広報紙・読みごたえのある広報紙への改善点等をわかりやすく教えていただきます。

### ■第3分科会

- とっとり子どもサミット～電子メディアとのより良い付き合い方編～
- 講師：鳥取県教育委員会 社会教育課 指導主事 戸板 正哉 氏

※子どもたちが主体となる為、大人は見学のための参加となります。

とっとり子どもサミットの子どもの参加申し込みは、別紙にて、学校を通して県教育委員会社会教育課に提出となります。

平成30年度 鳥取県PTA指導者研修（西部地区）参加アンケート結果

第1（人権）				第2（広報）				第3（サミット）		
		参加率				参加率				
小・26	中15	計41	93%	小29	中14	計43	84%	小5	中5	計10

第1分科会(人権)

テーマについて

よい	だいたい	あまり	回答無し
34	5	0	2

活用について

是非	検討	難しい
15	25	1

理由

《活用したい》

- ・我が子への対応の仕方が参考になった
- ・おやとしての責任を果たすために、このような情報を共有したい
- ・仲間を守りたいから
- ・親子・地域・学校をからめて取組めたら
- ・加害者側に立って考えれたのが良かった
- ・子どもがこういう話し合いを経験するのもいいと思う
- ・いじめを未然に防ぐために必要と感じたから
- ・現在いじめの事案があり、対応への参考にしたい

《今後、検討したい》

- ・人権についての研修会をやりたい
- ・活用したいが、参加者が集まらない問題がある
- ・今日のプログラムが良かった
- ・加害者視点で考えてみると、いかに自分か考えてないかがわかったので検討したい
- ・参加型の形式は多様な考え方に触れることができよかったから

全体を通して気づいた点など

- ・ファシリテーター寺谷さんの進行がとても解りやすく具体的でいろんな視点で見えていくヒントをうまく与えてくださり素敵でした
- ・少人数グループで発表が無い形の研修でよかった
- ・学校ごとにこういうミーティングができるといい
- ・楽しく参加できた
- ・席が決まらなかったのは気まずかったです(事前に小中ミックスでグループ分けしてある方が良い)

第2分科会(広報)

テーマについて

よい	だいたい	あまり	回答無し
26	14	0	3

活用について

是非	検討	難しい
33	9	1

理由

《活用したい・今後検討したい》

- ・作るからには楽しく読んでもらえるようチャレンジしていきたい！
- ・空白をうまく使う「空白の美」
- ・写真の撮り方(強弱・躍動感)、大きさやレイアウトの参考になった。スマホ撮影も取り入れたい
- ・伝えるための基本的知識、文章の構成ポイント、語句の使い方が身についたので今後に生かしたい
- ・他校の広報誌も見れたのが参考になった
- ・説明が具体的でわかりやすく、すぐ実践できる
- ・以前は紙面への総評的な内容が多かったが、今回は改善点、アドバイスがあり実践的だった

《活用は難しい》

全体を通して気づいた点など

- ・平日夜開催や、土曜日午前中開催も検討してほしい。
- ・午前中にあると嬉しい
- ・机のある会場がよかった(階段状だった)
- ・他の広報部に方との情報交換もしたかった
- ・他の広報誌を見れたのが何部か欲しかった
- ・スライドを映して説明して頂くとよりわかりや

